

【外国語班】 児童生徒の実態を踏まえ、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための指導の工夫
(主な視点) 授業展開、指導内容・方法、指導形態、教材・教具、支援、評価

太田市立藪塚本町小学校 菱輪 エリ子

【研究テーマ】

学級担任が寄り添って行える小学校英語活動の展開
～身近な話題や興味・関心を活かしたアクティビティを通して～

【授業の概要】

子どもの英語活動への参加は、学級担任が英語活動にどのような考えをもって、実際にどのような姿勢で指導するかが大きく影響するものと考えている。そのため、自分の思いを伝えようとする積極的な態度を養うことができるよう、担任が自ら意欲的に英語を使う活動を組み立て、子どもに寄り添い、温かい態度で賞賛しながら、身近な話題や興味・関心を喚起するアクティビティを取り入れた授業を行った。

【参観者の声】

- ・担任がたくさん英語を使いながら、児童と共に英語活動を楽しんでいる様子がよく伝わった。
- ・指示の仕方が温かく、児童が安心して活動に参加することができ、おとなしい児童も活躍することができていた。
- ・英語で賞賛や励ましの言葉をかけ、友達と目を合わせて楽しくコミュニケーションを図ることを意識した授業であった。
- ・児童がたくさん挙手して発言するなど、積極的だったことは、日頃の担任の細やかな心遣いと支援の表れであると思う。



藤岡市立小野中学校 小熊 悦子

【研究テーマ】

英語で生きたコミュニケーションをすることができる生徒の育成
～心の込もった音声指導の工夫を通して～

【授業の概要】

実践的コミュニケーション能力の育成のためには、生きた英語で自分の思いや考えを伝え合うことの楽しさや充実感を味あわせるための指導をする必要がある。そのために、「英語発声上の4原則 (Loudly, Clearly, Kindly, Fluently)」を提示し、聴いている相手の存在を大切にしながら、自分の意図が正確に伝わるコミュニケーションが行えるよう、心の込もった音声指導を工夫した授業を行った。

【参観者の声】

- ・「英語発声上の4原則」を意識させながら、相手を意識しながら話すことの大切さを先生自身が示していたと思う。
- ・英語を棒読みで読ませるのではなく、英語らしくする上で重要となる発音には、繰り返し気を付けるよう注意を促して丁寧に根気強く指導することの大切さを実感した。
- ・英語の授業自体がコミュニケーションの場であるということを教えていただいた。
- ・評価する時、相手の良いところ探しをすることで、生徒たち自身も気づきの部分がたくさんあった。



群馬県立伊勢崎工業高等学校 町田 稔

【研究テーマ】

英語の基礎力をつけさせる授業づくり
～句ごとの音読を中心とした指導を通して～

【授業の概要】

音読が思い通りにできず、結果的に英語嫌いにつながっている状況がある。教科書の英文を自信をもって声に出して読める力を身に付け、辞書を使いながらも自己の力で英文を読んだり、聴いたり、書いたりすることができる基礎力を養えるよう、句ごとの音読を中心とした指導を取り入れて授業を行った。

【参観者の声】

- ・フラッシュカード、地図、具体物、ワークシートなどの教材・教具を十分に準備し、内容理解を深めようとしていたことは、生徒に「わからせたい」という指導者としての強い意志が感じられた。
- ・多様な方法を用いて、丁寧に繰り返し音読指導を行い、英文の定着を図ることで生徒は意欲的に取り組んでいた。
- ・句ごとの音読を中心に本文内容を理解しながら正しく読む力をつけることで、基礎・基本の定着が図られていたと思う。
- ・CDを用いてネイティブの英語に続けて読ませたときには特に集中して行っていたので、やはり生徒は正しい発音で英語らしく読めるようになりたいという願いを強くもっているのだと感じた。



群馬県立館林女子高等学校 笠井 直美

【研究テーマ】

個々の生徒の学力を向上するための英語科指導の工夫
～音声指導からのSummary Making～

【授業の概要】

臆することなく英語を発する態度を養うとともに、学習内容の定着を図って、学力を向上させることが大切であると考えている。そのため、重要構文等の解説を行った後、音声指導に重点を置き、フレーズや英文をインプットさせ、それを活用しながら Q and A や Summary Making などのアウトプット活動を取り入れた授業を行った。

【参観者の声】

- ・丁寧にわかりやすいワークシートなので、学習を進めていく上で有効に活用できており、特にチャングシートには家庭学習でも活用できるような工夫が見られた。
- ・ペアワークが効果的に機能していて、生徒はなめらかに英文を読むことができていた。
- ・音読練習にしっかりと時間をかけていたために、内容理解が十分に図られ、知識もインプットすることができていた。そのため、summary 作成が比較的短時間で可能になっていたと思う。
- ・指導者本人が積極的に英語を使い、コミュニケーションを図ろうとする姿勢が模範となると思う。
- ・ペアワーク、グループ活動、学級全体の活動へと形態が変化する中で、誰とも関わりながら、自分の思いを表現することが楽しいと感じることができるよう指導の改善を繰り返していくことが大切だと思う。



【授業実践とその参観から学んだこと】

- ・積極的に英語を使おうとする教師の姿勢が生徒の模範となり、コミュニケーション能力の育成につながると思う。
- ・児童生徒が内容理解を図っているかどうかを学習活動の中で確認しなければならないと思う。
- ・誰とも関わりながらメッセージを交換しあう楽しさを味わえるような授業の工夫をすることが大切だと思う。
- ・タスクの与え方や形態を工夫することで達成感を感じさせることができると思う。